

# 千葉県環境保全センターの歴史

～～・～～ 歴代理事長と活動内容を紐解く ～～・～～

一般社団法人千葉県環境保全センター  
事務局次長 小野 武三

# (社)千葉県環境保全センターの設立

- 昭和45年12月公害国会  
公害関連14法案が成立  
廃棄物処理法はその施行に伴い浄化槽関係  
の資格が明確化されていく

- ① 千葉県清掃連合会
- ② 浄化槽管理業協会
- ③ 浄化槽管理士会      を統合

# 社団法人千葉県環境保全センター 創立総会

- 昭和47年(1972)6月29日、千葉ステーションビル6階大ホールにて創立総会を開催 **会員数79社**  
初代理事長**秋元宏之氏**(千葉市・有)千葉西部衛生社)
- 副理事長 山中金治郎氏(館山市)  
          中川国松氏(松戸市)
- 専務理事 大野 久氏(千葉市)  
          小出三雄氏(千葉市)
- 常務理事 小森千秋氏(千葉市)  
          中山 保氏(君津市)

浄化槽管理技術講習会の開催検討  
第3部会(保守点検業) 第5部会(清掃業)の発足

# 社団法人千葉県環境保全センター 第2回通常総会

- 昭和48年(1973)5月 会員数93社  
山中金治郎氏 第二代理事長に就任  
(館山市・山中清掃社)
- 9月 第28回若潮国会の開催  
演習会・模擬国体・国体と清掃事業に協力
- 昭和49年(1974)  
毎月のように実態調査を行い、維持管理の普及・啓蒙に努めた (千葉県内各保健所と共同)

# 社団法人千葉県環境保全センター 第4回通常総会

- 昭和50年(1975)5月 会員数100社  
小出三雄氏 第三代理事長に就任  
(千葉市・(有)千葉相互環境衛生社)
  - 10月 千葉県し尿浄化槽取扱指導要綱制定  
し尿浄化槽構造基準の一部改正  
維持管理業者の知事名簿登載が始まる  
維持管理業が認知され、資格者の養成が急務
- 昭和50年10月 機関紙「環境保全新報」創刊
- 昭和51年(1976) 貯水槽・酸欠主任者講習会開催
- 会員事業所の社員を対象とした理事長表彰開始
- 定款第2条を変更し地域ごとに支部を置くことができた。

# 社団法人千葉県環境保全センター 第6回通常総会

- 昭和52年(1977)5月 会員数125社  
北村正吾氏 第四代理事長に就任  
(流山市・江戸川清掃(株))
- 無届浄化槽の実態調査や各事業部活動の  
充実などの活動をしている
- 昭和53年(1978)  
浄化槽現場研修会(千葉県衛生研究所)  
県外研修会(群馬県伊香保町)

# 社団法人千葉県環境保全センター 第8回通常総会

- 昭和54年(1979)5月 会員数165社  
小出三雄氏(千葉市) 第五代理事長に就任
- 昭和54年(1979)12月  
廃棄物処理法の改正がされ、浄化槽の法定検査制度が導入され、社団法人千葉県浄化槽検査センターが設立  
この設立に際し、浄化槽教会と環境保全センターを合併し、検査部門を設ける案が検討されたが、両団体から会員を募り、新法人を設立することとなった。
- 当時の検査機関は厚生大臣の指定で、千葉県はその第1号である。

# 浄化槽法成立に向けて胎動期

- 会員数の推移が業界の対応を物語っている。

昭和56年10社

昭和57年27社

昭和58年17社

昭和59年20社

昭和60年 4社 この5年で78社が入会

昭和57年(1982)全国浄化槽団体連合会が主体となって議員立法での法制化を目指した浄化槽法をめぐってさまざまな情報が錯綜した。



# 社団法人千葉県環境保全センター 第12回通常総会

- 昭和58年(1983)5月 **会員数216社**  
**浅野正一氏** 第六代理事長に就任  
(大原町・東栄コントロール(株))
- 5月20日千葉ニューパークホテルにて、1年遅れであるが創立10周年記念式典を開催した。  
環境保全センターとして千葉県知事感謝状を受賞
- **浄化槽法**(昭和58年5月18日法律第43号)が**成立**。昭和60年10月1日から全面施行

# 浄化槽法の運用をめぐる I

- 昭和60年10月の全面施行に向けての準備機関の様相

（財）日本環境整備教育センターの事務代行に関連して、渡部恒三厚生大臣に陳情をした。

教育センターの事務問題については、その後（社）千葉県浄化槽教会と協定書を交わし、本日に至っている。

また、平成3年度には浄化槽清掃実務者講習会に関連して教育センターの事務機代行機関としての地位を回復している。浄化槽法が昭和60年10月1日から全面施行。10月1日は「浄化槽の日」と定められた。

# 浄化槽法の運用をめぐるⅡ

- 浄化槽法(昭和58年5月18日法律第43号)の施行に伴う用語の整備及び法人業務執行体制の強化を目的とする理事定数の変更(増員)並びに職制の整備(相談役に関する規定)をするために定款を変更した。

浄化槽維持管理(保守点検・清掃・法定検査)適正化を目的に、浄化槽相談員制度がスタート。100人の相談員を委嘱、保守点検・清掃の実施率アップ、法定検査の受検促進を図る。【浄化槽相談員設置事業千葉県委託事業として発足】

# 社団法人千葉県環境保全センター 第17回通常総会

- 昭和63年(1988)5月 会員数241社  
太田 清氏 第七代理事長に就任(昭和最後の年)  
(船橋市・(株)エイケン)  
浄化槽検査センター理事長も兼務
- 11月清掃問題研修会開催(自治会館)  
講師:佐藤守男氏  
演題:「清掃業界の流れと現況及び下水道の整備  
等に伴う一般廃棄物処理業の合理化に関  
する特別措置法について」

# 社団法人千葉県環境保全センター 第18回通常総会

- 平成元年(1989)5月 会員数246社  
高柳信一氏(千葉市・高柳清掃社) 第八代理事長に就任
- 3月 消費税説明会 講師:大嶋良弘氏  
3月 飲料水貯水槽清掃作業従事者研修会  
4月 20メガのハードディスクを内蔵した16ビットパソコンの導入
- 「単独処理浄化槽保守点検マニュアル」編纂
- 平成2年(1990)浄化槽保守点検業者研修会で浄化槽管理士による事例発表会を行う。また、普及が急な小型合併処理浄化槽に関する講習会に、環境保全センターとしても取り組む

# 社団法人千葉県環境保全センター

## 第20回通常総会

- 平成3年(1991)5月 **会員数251社**  
**大山幸吉氏** 第九代理事長に就任(昭和生まれ初めての理事長)  
(柏・我孫子市・(株)大山清運)

千葉県では昭和62年度を初年度とする合併処理浄化槽設置整備補助事業の充実を図り、補助金の増額、補助対象地域の拡大を行う。平成3年度で、対象市町村65、県費補助額3億7千万余円

- 4月から成田市で浄化槽の維持管理費に対する補助制度を実施。保守点検・清掃・法定検査に対する補助制度で全国的にもあまり例がない画期的な制度である。
- 8月には県下72市町村で組織する「合併処理浄化槽普及促進協議会」が設置され、浄化槽教会、浄化槽検査センターと共に賛助会員として参画した。

# 社団法人千葉県環境保全センター 第21回通常総会

- 平成4年(1992)5月19日  
創立20周年記念式典開催(ホテルニューツカモト)  
6月事務所を設立当初からの「自治会館」から現在の千葉市中央区中央港に移転(千葉県浄化槽検査センター2階)  
10年ぶりに会費の改定(月額4,000円)  
10月1日、環境行政に関する国政、県政、市町村制の研究目的に非後援団体として千葉県環境保全政治連盟(会長 大山幸吉氏)を設立

# 青年部会の設立

- 平成5年(1993)11月24日  
青年部会設立総会開催  
初代青年部会部会長  
新堀信長氏(松戸市) 会員43名

設立発起人(敬称略)

太田由起彦 石井活美 秋山耕一  
佐藤修一 佐藤隆栄 安部 陸 出口康博  
石井 栄 飯塚貴之 早川茂男



# 日本環境保全協会に入会

- 平成6年(1994)4月  
日本環境保全協会に入会  
従来、全国団体に加盟することなく活動を続けてきたが、農業集落排水施設に1千億円を超える予算が配分されるなど中央省庁に関する情報の収集などの必要性を感じ入会



# 社団法人千葉県環境保全センター 第26回通常総会

- 平成9年(1997)5月 会員数251社  
山本康昭氏 第十代理事長に就任  
(千葉市・(株)センエー)

千葉県からの委託事業の一環で、PC運用、ウィンドウズ3.1以上で動作。市販のアプリケーションで開発するという条件で、浄化槽保守点検業者登録簿システムを開発(マイクロソフト・アクセスを使用)した。

# 社団法人千葉県環境保全センター 第27回通常総会

- 平成10年(1998)5月 会員数250社  
林 康博氏 第十一代理事長に就任  
(成田市・三和総業(株))

高度処理型合併処理浄化槽等に関する講習会を開催、浄化槽維持管理適正化講習会として、新技術の習得を目的とする講習会として定着していった。その記念すべき第1回目である。

また、この年5月1日に青年部会のホームページを開設した。

# 研修会の充実

初夏「浄化槽維持管理適正化講習会」  
秋「環境大学秋季研修会」と位置付ける

県内を巡回した支部研修会の最後として  
中央支部・市原支部の合同研修会を開催  
講演：浄化槽の将来を展望する集い  
講師：(財)日本環境教育センター 国安氏

# 生活排水処理として「浄化槽」の 確立

- 平成12年(2000)ホームページを開設  
([www.kankyohozen.com](http://www.kankyohozen.com))

一般廃棄物収集運搬・処分事業者セミナー  
開催協力 (財)日本環境衛生センター

厚生省「汚水処理施設の効率的な整備の  
推進について」と「生活排水処理施設整備計  
画策定マニュアル」を発表

# 社団法人千葉県環境保全センター 第31回通常総会

- 平成14年(2002)5月23日  
創立30周年記念式典開催(オークラ千葉ホテル)  
記念講演「河川浄化は一石二鳥」  
講 師 三浦大助 佐久市長  
10年ぶりに会費の改定(月額5,000円)

「モデル賃金・給与規定のマニュアル作成配布」

「印旛沼をモチーフにカレンダーを作成」

「千葉日報に広告の掲載」「マナー研修等を開催」

# 中小企業人材確保推進事業

- 平成13年(2001)から5年間に取り組む

千葉日報紙上で(「ストップ雑排水」へ新たな試み)と題して座談会を開催

モデル就業規則(CD-ROMで配布)の作成

- ・ 浄化槽ブック&社員研修マニュアルの刊行
- ・ ビジネスマナー研修会の開催等
-

# 中小企業人材確保推進事業

- ・ 平成15年(2003)中小企業人材確保推進事業3年目
  - ・ ディーゼル車排ガス条例セミナー
  - ・ 新風会第10回チャリティーゴルフ大会開催  
東千葉カントリー倶楽部:参加者202名  
浄財を千葉県社会福祉協議会に寄付
- 「モデル人事考課規定の作成配布」
- 「パソコンセミナー(エクセル・ワード等)の開催」
- 「カレンダーを作成」「ビジネスマナー研修会を開催」
- 「千葉日報に広告の掲載」「浄化槽ブックの作成」



# 中小企業人材確保推進事業

- ・ 平成16年(2004) 中小企業人材確保推進事業
- ・ 第2種人材確保推進事業 1年目
- ・ 「事業主意識調査」「従業員意識調査」を実施
- ・ 就業規則定着セミナー
- ・ 給与規定定着セミナーを実施
  
- ・ この年県外研修会として浄化槽法第11条検査BOD測定を導入し、法定検査の効率化に取り組んでいる(社)茨城県水質保全協会を訪問

# 千葉県内市町村へ要望書を提出

平成15年の合特法委員会を中心に

「合特法」(下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業者等の合理化に関する特別措置法)の趣旨をご理解いただくとともに、代替業務等の配慮等を要望

平成20年度からは一般廃棄物処理業の委託のあり方についての要望を合わせて行う。近年、一般廃棄物収集運搬業務の入札が行われているようになり、委託価格の下落に歯止めがかからない状況ですが、廃棄物処理法等に照らし合わせ、この委託業務は入札になじまないという内容

# 浄化槽法第11条BOD検査の導入

・平成17年(2005)

平成18年度よりBOD検査を導入

(平成18年1月～3月役員事業所のみで試運転)

・6月 BOD検査説明会 参加登録事業所 298社

・8月(9月)BOD嘱託採水員講習会 4回で354名

平成18年(2006)

この年県外研修会として浄化槽法第11条検査BOD測定を導入し、法定検査の効率化に取り組んでいる(社)  
茨城県水質保全協会を訪問

# 中小企業人材確保推進事業

- ・ 平成17年(2005) 中小企業人材確保推進事業
- ・ 第2種人材確保推進事業 2年目
- ・ レベルアップセミナー開催。目的「ここ10数年における雇用環境の変化は、労働形態が多様化し、正規雇用と非正規雇用の格差が問題となるなど、変革期にある。人事担当者もレベルアップを図り、視野を大きく持つ必要がある。」管理・監督者レベルアップセミナーの開催。内容「数値に表れない雇用環境という面から、管理監督者のレベルアップを目的としてコーチングについて取り上げた。」

# 災害協定締結への第一歩

- ・ 平成18年(2006)
- ・ 9月 一般廃棄物セミナー  
講演:「地方自治法及び廃棄物処理法令上、  
行政・業者が理解しておくべきこと」  
講師: 弁護士 横山 昭 氏
- ・ 12月 支部研修会では災害時の取組の検討として  
災害支援を経験しているNPO法人総合生活環境支  
援センターの岡山氏を講師に迎え「災害時の対応に  
ついて」という内容で講演を行った

# 社団法人千葉県環境保全センター 第36回通常総会

- 平成19年(2007)5月 **会員数238社**  
中山 赫 氏 第十二代理事長に就任  
(君津市・(有)君津清掃社)

「大規模災害時におけるし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬に関する協定」を千葉県と締結した。

平成19年8月3日 千葉県庁知事室にて調印

千葉県知事 堂本 堯子  
社団法人千葉県環境保全センター  
理事長 中山 赫

# エコアクション21に取組・認証・取得

- 平成20年(2008)
  - ・ 1月 成田市で「水環境フォーラムin成田」を開催
    - 基調講演「千葉県における生活排水処理の現状と今後の課題」
    - 講師:(財)日本環境整備教育センター 国安氏
  - ・
  - ・ パネルディスカッション
  - ・ 「生活排水処理における浄化槽の役割と展望」

エコアクション21の取組認証・登録を得た

# 社団法人千葉県環境保全センター 第38回通常総会

- 平成21年(2009)5月 **会員数230社**  
石井 栄 氏 第十三代理事長に就任  
(鎌ヶ谷市・富士興運(株))

環境保全フォーラム印旛の研修会開催に協力し、環境カウンセラー千葉県協議会を講師に迎え、浄化槽ユーザを対象とした「浄化槽教室」を開催した。後の、浄化槽シンポジウム&浄化槽講習会に継承される。

12月 役員研修会で中村コンサルティングオフィスを講師に迎え、「公益法人改革の概要」を開催する。



# 日本環境保全センター関東地区 協議会幹事県として

- 平成22年(2010)平成23年(2011)  
日本環境保全協会関東地区協議会幹事県になる

構成員 (社)東京環境保全協会  
三多摩清掃事業協同組合  
(社)茨城県環境保全協会  
栃木県環境保全協会  
(社)群馬県環境保全協会  
埼玉県一般廃棄物連合会  
神奈川県環境整備事業協同組合  
(株)市川環境エンジニアリング  
(社)千葉県環境保全センター 1社8団体

# 東日本大震災の発生

- 平成23年(2011)3月11日東日本大震災発生  
千葉県でも浦安市、千葉市、船橋市、市川市、習志野市、香取市、旭市、銚子市、市原市等が被災した。燃料の確保が困難になり業務に影響が出た。  
上部団体日本環境保全協会を通じて宮城県の団体に義捐金を送った。  
また、新風会はチャリティゴルフ大会での浄財を香取市、習志野市、旭市、浦安市に寄付した。

# 浄化槽管理者に対する講習会

- 平成23年(2011)

浄化槽シンポジウムを開催(5回)

- ①我孫子市②佐倉市③鎌ヶ谷市  
④鴨川市⑤市原市

平成24年(2012)

浄化槽講習会開催(5回)

- ①一宮会場②富津会場③千倉会場  
④旭会場⑤山武市

# 一般社団法人へ移行

公益法人制度改革関連3法が、第164通常国会で可決され、平成20年12月1日に施行されました。

千葉県環境保全センターは平成24年10月に一般社団法人への移行許可申請をし、平成25年3月21日に千葉県知事より許可書をいただき、平成25年4月1日に設立登記を行う

**一般社団法人千葉県環境保全センター**

# 一般社団法人千葉県環境保全センター 第1回定時総会(第41回)

- 平成24年(2012)5月15日

創立40周年記念式典開催(オークラ千葉ホテル)

創立事業の一環としてキャラクターを募集

広島県在住堀江さんの「チージョ」を採用

- ・ 創立40周年記念誌の発行

小型浄化槽メーカー別保守点検管理マニュアルを編纂

賛助会員を中心に展示ブースを開設

# 一括契約千葉県システム始動

平成27年2月13日16日17日18日(4回)

千葉県環境生活部水質保全課及び  
浄化槽3団体を中心に一括契約説明会を開催。

浄化槽法(第7条・第11条)法定検査の受検  
促進を図る

県内市町村補助金物件には法定検査を義務  
付けへ

# 宅建協会と法定検査受検促進の 協定書を締結

平成28年1月20日

一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会と  
「建物に設置された浄化槽の定期検査の受検  
促進に係る協定書」と締結し、  
浄化槽法第11条検査の受検促進を図る

# 中国環境保護部陳吉寧部長 浄化槽を視察

平成28年4月29日

一行は成田市を訪れ、成田市の生活排水処理並びに浄化槽の維持管理に関する取り組みを説明した後、浄化槽の現場を視察した。

三和総業(株)様、(協組)成田市個人下水道管理協会様には多大なるご配慮をいただいた。環境省及び(公財)日本環境整備教育センターを協力してできた。